

令和 8 年度 第 2 回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録
(令和 7 年度市民協働型まちづくり事業補助金 事業報告会)

日 時 : 令和 8 年 5 月 13 日(水)

10:00 ~ 15:30

場 所 : 御殿場市役所東館 2 階 201~203 会議室

1 出席者

〔御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 委員〕※敬称略

高橋 美佳、勝又 長生、浜田 宏美、高橋 良子オザナ、川村 美穂、立道 佳之、宮崎 一彰、
刈山 祐江、芹澤 直己、中村 周平 計 10 名

〔明治大学〕

山口 真生

〔事務局(市民協働課)〕

高村課長、鳥澤統括、梶副主任

2 令和 7 年度市民協働型まちづくり事業補助金 事業報告会 [10:15~13:50]

〔内容〕

令和 7 年度御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金の実績報告のため、各団体・担当課の事業報告、質疑応答等を実施。「御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会」の委員 10 名を評価者として、前年度に実施された市民提案事業 5 事業(新規 2 事業、継続 3 事業)、行政提案事業 1 事業(新規 1 事業)の評価を行った。

【市民提案事業】

- (1) 事業名: 「おさんぽパトロール隊」事業 [1 年目]
団体名: 御殿場ラン&ウォークパトロール隊
担当課: くらしの安全課

〔質疑応答〕

(委員) この事業は、「痒いところに手が届く」ような取り組みで、通学路でも旗振りの活動が少なくなってきたりしているので、そういった時におさんぽをしている方々が、地域の見守りを自分ごととして考えて活動していただけるのは、すごくありがたいと思います。

今回の事業では、49名の会員が集まったとのことでしたが、地域によって会員数に偏りがあるのでしょうか。例えば、会員数が多い地域や少ない地域があるのかについて教えていただけますでしょうか。

(団体) 御殿場地域や富士岡地域は、会員数が比較的多い状況です。一方で、印野地域は会員数が少ない状況となっています。ただし、全ての地域に会員の方がいらっしゃる状況です。

(委員) 事業報告書を確認したところ、評価項目の「課題解決」に関して、市民活動団体と市の担当課の双方が「B」評価を付けていました。私としては、事業の1年目としてはすごく進捗が良かったと思いますが、双方が「B」評価としたのは、目標達成が出来なかったなどの理由が

あるのでしょうか。

(団体) そうですね。2年目につなげるという意図もあり、また、この事業に関しては1・2年目で実施したとしても、すぐに目に見える効果が現れるものではないため、団体としては「B」という評価を付けさせていただきました。

なお、2年目に関しては、会員の皆様30名を追加で募集し、認知症サポーター養成講座の受講を計画しております。その活動を通じて、地域の見守りの視点をさらに高齢者へ向けていく取り組みを進めていきたいと考えています。

(市担当課) 地域防犯の面に関しては、まだ発展途上の部分があると思いますので、地域の見守りの意識をさらに広げていくことが重要だと考えています。また、犯罪の認知件数は減少傾向にあります。こうした状況にもより積極的にアプローチしていく必要があると感じております。そのため、評価については「B」を付けさせていただきました。

(委員) 次年度を見据えて「B」評価を付けられたのですね。ご回答いただき、ありがとうございます。

(2) 事業名： #しゅがミト [1年目]
団体名： #しゅがミト実行委員会
担当課： まちづくり推進課

[質疑応答]

(委員) 私もイベントに参加させていただきましたが、大変盛況だったのではないかと感じています。その中で、行政の方にお伺いしたいことがあります。#しゅがミトのように若い方々が主体となって活動している市民団体の場合、行政との打合せが難しいといった課題が今回あったと思います。行政として、次回以降、どのように進めていけばよりスムーズに取り組むことができるか、お考えがあればお聞かせいただけますでしょうか。

(市担当課) 今回の#しゅがミトは良い事例だと思っていて、会議として形式的に集まるのではなく、自然にチームが形成されている状況がとても良いと感じています。活動の振り返りを兼ねて意見を交換するなど、自然な形でのコミュニケーションが取れているのが印象的です。こうした文化や組織作りのスタイルが、次世代へと広がっていくと良いと思いました。

(委員) 若い世代の方々は、市役所の営業時間中は仕事をしていることが多いと思います。そのため、魅力的な活動であれば、市役所が閉庁した後も打ち合わせを行えるようになるのではないかと考えています。そうした取り組みが実現できるような、活動が生まれていけば良いなと思っています。

あともう1点質問ですが、今年度は、市民協働型まちづくり事業補助金を活用せず、物販や協賛金などによってイベント実施の目途が立つのかなと考えておりますが、どのような活動をされるのかお伺いしたいです。

(団体) 今年度、市民協働型まちづくり事業補助金を活用しなかった理由は、事業の継続を目指しており、団体として収入を確保する準備を進める必要があると考えたためです。実際、昨年度の事業実施時には赤字が発生し、団体の持ち出しが必要となりましたが、負担を覚悟しながらも形にとらわれず、若い世代と一緒に交流しながら自分たちの手でまちを楽しくしていきたいと思っています。事業が縮小することがあっても、#しゅがミトは継続して実施していきたいと思っています。

(委員) 駅前空間を上手く活用し、3,000人もの来場者を集めることは、決して容易なことではない

と思います。そこで、御殿場駅前のみに限らず、公園やキャンプ場など、別の場所でイベントを実施していただくことは可能でしょうか。

- (団体) 私たちの団体は、あくまでイベントに関しては素人であり、仕事として専門的に行っているわけではないので、求められるレベルによって対応できる範囲は異なるかと思います。しかしながら、私たちの強みとして、高校生や東京などへの進学で都心に出ている大学生など、多くの10代の若者が協力してくれます。そういった面で、団体として協力できることはあるのかなと思います。
- (委員) もしかしたらお願いするかもしれません。その際はどうぞよろしくお願いいたします。

- (3) 事業名： GMTG Meetup [2年目]
団体名： GOTE MBA MEETING 実行委員会 交流会部門
担当課： 市民協働課、社会教育課、まちづくり推進課

[質疑応答]

- (委員) 報告資料の「活動概要」に「伝統工芸」と記載されていますが、御殿場における伝統工芸について、どのようなものがあるか教えていただけますでしょうか。
- (団体) 遠足で行かせていただいた藍染や、茅などがあると思います。茅は御殿場の素材を活かしたものだと思います。また事業の中で意見をいただいたのはお豆腐だとか、伝統工芸に限らず産業分野でも意見をいただきました。

- (4) 事業名： こども若者サポート会議 [2年目]
団体名： ごてんば子ども支援者ネットワーク
担当課： 子育て支援課

- (委員) 報告資料の中の評価項目の「公開と評価の原則」に関して、「C」評価を付けられていますが、どういった理由でしょうか。
- (団体) 昨年度の事業としては、具体的には2つのイベントの告知がありました。2回目のイベントについては、当初の計画段階では、より専門的な子育てに関する知識を学ぶ講座を実施する予定でした。しかし、事業を進めていく中で、深い内容よりも裾野を広げて、市民に興味をもってもらえるように映画の上映会への事業変更を行いました。年度途中での事業変更となり委員の皆様にはご迷惑をおかけする形となりましたが、何とか市民のニーズに合った形で実施することができました。しかしながら、準備期間が短かったことや告知方法についてアドバイスを審査の方々からいただきました。そのため、新聞広告を活用するなど試みを行いました。事前の連携がスムーズに進まず、市の担当課とより密接に連携をとりながら進めるべきでした。その点が課題として残ったことの反省を含めて評価を記載しました。

- (5) 事業名： おもちゃ病院事業 [3年目]
団体名： 御殿場おもちゃ病院
担当課： 社会教育課

- (委員) 大変素晴らしい活動だったと思います。今後については、自己資金の確保が課題となると思います。行政の方も、企業への働きかけや寄附の呼びかけなど継続的な支援をいただく

ことが必要ではないかと思ます。

- (団体) 今後負担額を抑えつつ、どのように補填していくかについては考えて事業を継続していきたいと思ます。

【行政提案事業】

- (1) 事業名: 男女共同参画推進シンポジウム 2025 in 御殿場 [1年目]
団体名: CIVIC PRIDE GOTEMBA
担当課: 市民協働課

〔質疑応答〕

- (委員) 事業報告書を確認したところ、評価項目の「情報共有の原則」に関して、市民活動団体が「C」評価を付けていました。「C」評価を付けた理由を聞きたいです。
- (団体) 昨年度実施したトークフォークダンスにおいては、団体が用意した申込フォームで参加申込を行う方と、高校へ直接申し込む方がいて、参加者の集計に時間がかかり、市の担当課へ共有するタイミングが遅れてしまいました。参加者の申込状況をリアルタイムで共有する工夫があると良かったと思ます。今年度は、改善していきたいと思ます。
- (委員) 今年度の活動も期待しております。

3 第2回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会〔14:10～15:30〕

〔内容〕

事業報告会での事業報告及び質疑応答、報告書の内容、採点結果、委員からのコメント等を踏まえ、各事業の実施内容及び実績について協議を行った。

【市民提案事業】

- (1) 事業名: 「おさんぽパトロール隊」事業 [1年目]
団体名: 御殿場ラン&ウォークパトロール隊
担当課: くらしの安全課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・はっきりとした成果の出にくい事業だが、続ける事に意義があると思う。2年目に向けての目標もあるので、今後に期待したい。
- ・自分も楽しみながら地域の安全安心に貢献できるニーズの高い事業であると感じた。腕章デザインを高校生が作成している点もあり、幅広い年代が貢献できる事業であり、今後の発展性を感じた。
- ・1年目にして地域に防犯意識を根付かせ、市民の力を引き出すきっかけとなったことと、行政と団体の連携が円滑に進んだ点は高く評価しました。2年目は、より広報活動を強化し、活動の見える化を期待しています。
- ・幅広い視野と行動力で御殿場市の為に御尽力して頂いている様子がよくわかりました。世代関係なく、皆で活動されていることも素晴らしいと思ます。

- ・行政がもっと積極的に関与すべき！
- ・地域にとってなくてはならないと思います。お散歩して終わりではなく、ゴミ拾いや道路の状況などまで情報交換したり、とても地域のため、子どものためになると思います。
- ・市民の普段の生活の中で活動出来るのがとても魅力的だと感じました。地域的なバラつきもありそうですが、市全体として参加者が増え、通学だけでなく、地域のお年寄りなどにも目を向けて行けるとより住みやすい市になると思います。これからもよろしく願います。
- ・1年目としては素晴らしい活動と成果だと思います。2年目更なる発展を期待します。
- ・事業内容や、官民の協働・連携という点で、とても良いものだったのではないかと思います。
- ・市民協働型まちづくり事業として相応しい事業である。住みよいまちづくりのために地域の安全・安心に繋がっている。引き続き、隊員の拡大とともに事業を継続していただきたい。この事業は3年の事業を終えても補助金が出るように行政側も工夫していただきたい。

〔協議内容〕

- (委員) この事業はとても市民協働らしさを感じられる取り組みだと思います。また、補助金がなくても継続可能な事業ではないかと考えています。昨年度は「パトロール」を中心に活動が始まりましたが、今年度は高齢者の見守りといった分野へと拡大しており、良いと思います。ただし、「少し試してみよう」という感覚から始まった活動が、徐々に責任感を伴う形になり、負担が大きくなってしまいう可能性もあるのではないかと少し懸念しています。その点に注視しながら、今後の活動を温かく見守っていければと思っています。
- (委員) 地域防犯につながっている事業として、とても良いと思います。今年度は、高齢者の見守りにも活動を広げていこうとしているのが良いと思います。
- (委員) この事業は比較的費用の負担が少なく、良い取り組みであると感じています。補助金期間終了後は、団体が自己資金で事業を継続していくことになると思いますが、その際くらしの安全課から予算の支援ができないかなと思いました。もし補助金期間終了後にくらしの安全課が予算を支出できるような仕組みがあれば、良いなと思いました。行政側からそのような提案ができることと事業がより良くなると思います。
- (委員) 報告資料の中に、ゴミ袋代がなかった。大きなゴミが落ちていた時の処分代も費用がかかってしまうと思うので、行政からの支援が少しでもあると良いと思いました。

- (2) 事業名: #しゅがミト [1年目]
 団体名: #しゅがミト実行委員会
 担当課: まちづくり推進課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・駅前空間の利活用、団体の活動の流れなど、今後のモデルとなるものと思います。にぎわい創出という点について、事業効果をどのように捉えるか、難しかったと思います。
- ・高校生を巻き込んだ点が良かった。地域おこしで食をテーマとしたイベントが多いので、新鮮味には少し欠けている様に感じた。

- ・本事業は、スタッフとして参画する御殿場市の若い世代の育成に寄与しており、集客数などでは図ることができない大きな成果があったと感じた。人間味のある事業であり、持続的・継続的な発展が見込める事業であった。
- ・沢山の若者が主催側にいて、とても良いモデル性と発展性のある団体だと思います。御殿場の活気のためにもなる、若者が御殿場市をさらに好きになる、良いまちづくりの回転を想像しました。
- ・イベント開催は団体単独での目処がたったのだと思います。これからまた新たな企画などの普及活動で市民協働が有効な時は是非活用してください。今後のご発展お祈りします。
- ・若い世代の市民協働として期待した活動でした。駅前の活性化、10代・20代のメンバーの活動への参加と新たな芽が育つきっかけとなったと思います。
 今後は協働事業としてではなくとの事でしたが、まちづくり推進課と可能な限り協力して御殿場市の活性化になる活動を期待しています。
- ・御殿場の活性化を核とした活動は好感が持てます。学生も一緒に自分達のまちを盛り上げるべく、楽しく交流しながら活動されている様子は応援したくなります。
- ・若年層の参画促進や関係人口の創出において、行政施策では、届きにくかった層を巻き込めた点は良かったと思います。
 今後もイベントが継続できるよう、活動場所が安定的に開放され、また周辺店舗との連携にも繋がることを期待します。
- ・若者主体の企画と行政支援の連携により、駅前空間の新たな活用モデルを示したのは高評価。また御殿場駅周辺で滞在できる時間を創出できたことも成果が見られる。
- ・参加できず、正当な評価が出来ずすみません。今年は是非参加してみたい。若者の企画はすばらしい！

〔協議内容〕

- (事務局) とても華やかなイベントでした。運営の学生たちは大変そうではありましたが、楽しそうに取り組んでおり、来場者にも楽しい雰囲気が伝わったのではないかと思います。
 また、団体としては、市内の出店者が少なかった点について反省していましたが、その課題を次回に活かして取り組んでいける団体だと思うので、今後の活動にも期待しています。
- (委員) 3,000人もの来場者を集めるイベントは、そう簡単に開催できるものではありません。若い力によってこれほどの集客をできたことは、すごいことだと思います。今後何かお願いできることがあれば、団体にぜひ協力してもらいたいと思っています。
- (委員) 当日イベントに行けなかったのですが、渋滞などを考えると車の運転に自信がないので、行けなくて残念でした。別の会場で開催されることで、より足を運びやすくなるのではないかと感じました。
- (委員) 若者が集まる機会はあまり多くないため、今回の事業はとても良い取り組みだと思いました。

- (3) 事業名： GMTG Meetup [2年目]
 団体名： GOTEMBA MEETING 実行委員会 交流会部門

担 当 課： 市民協働課、社会教育課、まちづくり推進課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・テーマを決めてのミーティングと、その後の遠足という体験の組み合わせが良い。住んでいる御殿場の魅力を改めて認識できる。遠足の企画はテーマを変えて実施出来そうだと思う。
- ・食など、推しトークをきっかけに社会交流する場を設けるという取り組みは、市民協働事業という形ならではの活動であり、参加者も集まるようになって好評だったのが良かったと思います。
- ・色々な事を自由にしながら深く学べたり出来る場でもある。参加者が地元により誇りを持つことが自然にできるように企画を作っているのが素晴らしいです。
- ・市民同士の新たなつながりを構築でき、市内の新たな資源の発掘もできる、市民主体のまちづくりに寄与できるモデル事業であると感じた。
- ・遠足は大盛況で素晴らしいです。会としての方向がだいぶ定まってきた感じがしますので、今後はよりテーマを絞った活動が行われることを期待しています。
- ・御殿場の魅力を発信出来る、他の団体との協力関係は？伝統工芸が何か知りたい！
- ・市民協働への初参加の方、高校生、市外からの移住者などの実行委員での活動により、市民活動への参加の間口が広がったと思う。遠足も大好評だったので今後もぜひ年1くらいで続けてほしいです。
- ・御殿場市の身近な話題を通して、市民が気軽に交流できる場の創出や御殿場の魅力発掘になったと思います。
- ・新たに取り組みを始めることは簡単な事ではないと思いますが、誰もが関心を持てるようなテーマ・参加しやすい内容で募集されたポイントは とても良かったと思います。
- ・多様な市民が交わる場を創出し、情報共有と体験を通じて地域理解を深めた点が素晴らしい。講話に加え地元食や遠足などの実践的プログラムにより、世代間交流も促し、「参加して良かった」という満足度の高さも成果のひとつと考えます。

〔協議内容〕

(委員) 御殿場を離れる若者が多い中で、将来地元に戻ってきてほしいという想いがあると思います。そのような状況の中で、運営においても若者が活躍できるのは良いことだと思いました。

(4) 事業名： こども若者サポート会議 [2年目]
団体名： ごてんば子ども支援者ネットワーク
担当課： 子育て支援課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・民間の専門性で、事業を深掘りでき、地域で子どもを支える連携の足がかりとなる内容で良かったと思います。広報がもっと出来れば、より高い効果になったかと思いました。
- ・補助金の活用方法と団体がやりたかった事業がマッチせず市民協働補助金としては苦労したのではないのでしょうか。昨今ではとてもニーズがある事業になるので、今後市内だけではなく東部地域の情報収集や発信に期待しています

- ・行政からこぼれ落ちてしまう所を救い上げる活動の趣旨、活動は素晴らしいですね。益々少子化の一途を辿っている現状の中、包括的体制を整えることはどの地域にも早急に求められているように強く感じます。
- ・目に見えないところを市民に理解してくれるようにと知識や学びを提供しているのはとても良いです。マップは柔軟に更新できるかな？
- ・出生数が70万しかいない時代、子育ては重要、活動を継続してほしい。
- ・たくさんの市民団体やグループのまとめ役ということでいろいろご苦労あったと思います。今後も新たな企画などの際は是非当補助金を活用ください。
- ・社会情勢の変化で子供を取り巻く状況が、親世代の時と大きく変わる中で、市民が現在の課題を学べる機会の提供を行っており、地域課題を汲みとった大変重要性の高い事業であると感じた。
- ・「支援者の支援」はとても必要な事と感じた。当事者である子どもの参加はとても良いと思う。今後、支援者を増やす試みが必要と感じた。
- ・子供や若者への支援体制を整え、地域の気づきを高めることは、まちづくりの中でも重要なことと捉えています。協働事業を終了してしまうのは残念ではあるが、継続して地域の子供や若者のサポートをしていただきたい。

〔協議内容〕

- (委員) 報告資料の中で、「協働を進める中で、団体として必要性を感じ企画した内容が、必ずしも協働事業として認められない場面があったことは課題であった。」と記載しているがこれはマップ作成のことをいっているのでしょうか。市の担当課も補助金の使い勝手あまり良くないという言い方をされていたので、市民協働課としてはどう捉えているか教えていただきたいです。
- (事務局) この団体は昨年度に事業内容の変更を行いました。しかし、その変更内容については、事業を計画している段階から予測可能な事項だったのではないかと、というご指摘を委員から受けました。なので、市民協働課としては、事業の計画段階から、どのような目的で事業を進めていくのかを確認しつつ進めていく必要があると思いました。また、計画段階から、市民協働の意義などを理解していただくことが必要だと思いました。
- (事務局) この事業については、以前、委託費に関して話し合いが行われたかと思います。市民協働課としては、ルールに基づいて相談に対応しており、必要に応じて補助金に関するルールの見直しも行ってまいりました。
行政が市民活動団体等と協働して事業に取り組む中で、補助金が思うように活用できずもどかしい思いをしたかもしれませんが、例えば、市の担当課において活用可能な補助金制度の案内や、制度の作成などの対応が検討されても良いのではないかと感じます。
- (委員) マップ作成については、予算を申請したものの承認が得られず、団体としては残念に感じる部分があったと思います。
- (委員) 子育て支援に関する事業を団体と行政が協働して検討することはとても重要だと考えます。これからもこのテーマを大切に捉え、継続的に取り組んでいただければと思います。

- (5) 事業名： おもちゃ病院事業 [3年目]
団体名： 御殿場おもちゃ病院

担 当 課： 社会教育課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・使い捨て時代を憂えています。ひとつの物を大切に使うことを、令和になろうとも大事にするべきだと思います。その観点からも 貴重な事業だと考えます。
- ・さまざまなイベントに参加され、世代間交流、理科離れ抑制といった社会教育への貢献が素晴らしかったです。今後は、富士岡地区まちづくり事業の助成を受け、地域の枠組みの中で、持続可能な活動を継続されるとの事で安心しました。
自立した団体になり、4年間お疲れ様でした。
- ・4年間補助事業を完遂されたことは、まず素晴らしいと思います。計画性と実行力の賜物と思います。また新たな企画など出てきましたら市民協働補助金を是非ご利用ください。
- ・大切なおもちゃ、物を大事にする心、色んな世代との交流、科学まで好きにさせる団体さん。お疲れ様でした。どんどん進化して下さい。応援しております。
- ・利用者の利益だけでなく、世代間や地域の交流を生む良い事業だと感じた。子どもを持つ親達の認知度も上がっている。
- ・富士岡地区の助成金制度は30割の自己負担が必要、行政の協力が不可欠！
- ・4年目となり、イベント等実施のノウハウが蓄積され、効果の高いものとなっていた。
社会課題でもある理科離れの克服に向けたものや、ものを大切にする心の育みに向けた事業が社会に貢献に寄与していた。
- ・素晴らしい取り組みだったと思います。団体の事業継続性について課題となりそうですが、事業の目的、総括の部分からとても有意義な要素があると思いますので継続に向けて頑張ってください。
- ・4年間お疲れ様でした。
今後は富士岡地区の補助金を利用しての活動も引き続き期待しています。
自己資金の調達には苦勞すると思いますが、1口 1000 円～とかの個人支援を募るのもひとつの手かと思います。今後、長く活動できることを期待しています。
- ・世代を超えた交流の場を創出している点が評価できます。リタイア世代の活躍機会や子どもの学びの場づくりにもつながっており、地域コミュニティの活性化に寄与する継続性の高い事業と感じます。

〔協議内容〕

- (委員) 世代を超えた交流があり、物を大切にする意識を育む取り組みとしてもとても素晴らしい事業だったと思います。今年度からは富士岡地区の補助金を活用する予定とのことですが、各地区からの補助金などがある場合には、それらも積極的に活用すると良いと思いました。その際、社会教育課もサポートしながら進めていくことで、事業が大きくなっていくと思います。また、市の補助金に限らず、他の補助金制度を活用することで、事業がさらに拡大していくと思います。
- また、今年度開業予定の「おもちゃ美術館」と連携することで、収益面を安定させることができるのではないかと思います。
- (委員) 「おもちゃ美術館」との連携は、とても良いと思います。
- (委員) この事業においては、事業開始当初から自己資金の調達が課題となっていました。

この活動に賛同してくださる個人の方々から寄付金を募る方法も良いのではないのでしょうか。例えば、修理したものに対して1口1,000円や2,000円程度の寄付を募る形にするのも良いと思います。また、団体のホームページに情報を掲載することで、より広く支援を呼びかけることができると思います。ぜひ継続して取り組んでいただきたい事業なので、今後も社会教育課にもご協力いただきながら進めていければと思います。

【行政提案事業】

- (1) 事業名: 男女共同参画推進シンポジウム 2025 in 御殿場
団体名: CIVIC PRIDE GOTEMBA
担当課: 市民協働課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・成果ができるまでに時間がかかる事業、御殿場にとって重要です。継続することを期待します。
- ・参加者を募るのに難しさがあるとは思いますが、団体と市が協力してもう少し早めに広報出来ると良かったなと感じました。参加してみて考えるきっかけやヒントになる内容だったので今年度の活動も期待しています。
- ・他からの先進的なロールモデルを用いてイベントを企画するのは本当に素晴らしいと思います。本年度も期待しております。
- ・一般的に男女共同参画は、女性のことに寄りがちだが、男女ともに考えることの必要性を育む意識向上の改善が見られた。
若い世代から偏見を無くす取り組みが大切であり、御殿場高校での事業はとても参考になり、全体を通して発展性のある事業であると感じた。
- ・課題が大きく、ポイントをつかむのが難しいですね。良く頑張りました。さらに色々な方が参加出来るように頑張ってください。
- ・良い事業だと感じたが、市民全体への告知が不足している。もっと関心を持って貰える工夫をすることで、活動が広がると思う。
- ・事業の芯の処がしっかりされていて、目的も明確で活動を遂行されているのがよく解ります。活動の場や範囲も工夫されているように思います。
- ・単独では困難な規模のイベントだと思います。令和8年度は行政とリアルタイムに情報共有をし、多くの方に男女協働参画社会の推進に理解していただくようなイベントにして欲しいです。
- ・有意義な取り組みだったと思うが、課題の吸い上げから講演の実施という事業の流れの中で、今の時点では事業効果が見えにくいように感じた。評価の中にあつたように、まとめた資料などが公開されるとよかったかもしれません。
- ・高校生を含む多世代交流や若者向けミーティングの場を設けることで、男女共同参画への理解促進と地域内のつながりを強化した事業と認識しています。行政だけでは実施しづらい柔軟な内容を取り入れた点も意義があります。

〔協議内容〕

- (委員) 男女共同参画について、考える機会にはなっていると思います。
(委員) チラシなどに「男女共同参画」という表記があると、事業に対して少し堅いイメージを抱か

れることがあるかもしれません。また、昨年度は事業募集の告知が遅かったことも気になりました。今年は改善されればと思います。

また事業に参加することで、自分の考え方を見直したり、他の人の意見を聞いて新たな気づきを得るきっかけになりました。そのため、参加者の意見や事後報告を積極的に発信することが大切だと思います。結果報告を継続的に発信することで、より多くの人に関心を得られ、事業の魅力がさらに高まると思います。

(委員) 男女共同参画に関心が薄い人にも興味をもってもらえるような内容で発信できれば良いと思いました。

(委員) 昨年度、男女共同参画シンポジウムに参加しました。内容は素晴らしかったのですが、それに対して参加者が少なかったことが残念に感じられました。

今回行政提案事業で実施された事業ですが、行政側の評価はいかがでしょうか。

(事務局) 市民活動団体と行政との連携が上手くいかず、情報共有が遅れ、協働が円滑に進まなかった点について反省しています。シンポジウムの内容はとても素晴らしく、登壇者の方々の話もすごくおもしろかったのですが、参加者が少なかったことが課題でした。今後は、参加者を増やすための工夫が必要だと感じました。また、事後報告をより効果的に広報することで、参加できなかった市民にも広く情報を届け、イベントの意義を共有していきたいと考えています。

(委員) 昨年度のシンポジウムの開催日が、市内の他のイベントと重なっていました。今年度は、他のイベント日も考慮し、開催できればと思いました。

【はじめの一步事業】

- (1) 事業名: 親子手作り甲冑教室
団体名: 伝統文化もりあげ隊
担当課: 社会教育課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

・御殿場の歴史、史跡、伝統文化を継続的に活動して知ってもらう事が必要だと感じる。親子に限らず、大人でも興味がある人も多いと思うので大人向けの甲冑作りも良い。夏休みの自由研究の一つとして学習(地域や武将についての歴史)と工作の楽しさ、夏祭りへの参加も含めアプローチも参加者を増やす一端となるのではないのでしょうか。また、親子向けのイベントなので作業日を土日にと良いと思う。子どもは夏休みだが、大人は休みを取っての参加は躊躇の要因となる。

・御殿場の歴史や史跡、伝統文化の魅力について理解を深める「学習」、学習内容を踏まえて親子でオリジナルの甲冑を制作する「制作」、さらに制作した甲冑を着用して御殿場夏祭りに参加する「発表」というように、段階的に事業が企画されており、参加者の満足度を高めるための工夫が随所に見られた。

甲冑はそれ自体が子どもの興味・関心を引く題材であるが、それを単なる制作活動にとどめず、御殿場の歴史や文化の学びと結び付けた点は、非常に高く評価できる。

今後、アンケート等を通じて参加者の声を収集し、その結果を報告書へ反映することで、事業のさらなる発展に寄与するものと考えられる。

- ・机上の講習だけでなく体験することによって子どもも大人もその事柄などをより理解出来ると思います。先人が辿った歴史を知った上で、親子で製作する貴重な時間となりますね。『精神的豊かさ』が見直されている中心の成長期にすばらしい活動だと思えます。大人になって振り返った時に強烈な思い出の一つとして心の根っここのところにあると願いたいですね。郷土愛も育まれそうで嬉しいことですね。
- ・行政による資料の提供は必須と考えられるので、本事業を考えていく上で、行政の支援を必要と考えています。今回事業効果について低いのは、甲冑というストーリーが御殿場市の歴史と深く結びつけることは難しいと考えたからです。
甲冑を作るという行為と、御殿場市において合戦があったことは表面的で深みが作れていないので、その深みをどのように作るのかが課題と考えています。
- ・弥生・古墳時代から続く甲冑文化の歴史・文化に興味はあるが、甲冑づくりを通して御殿場の伝統文化を伝えられるとは？
御殿場の郷土史は縄文時代から始まっているが、現代まで繋がっている地域は東山・駒門地域ぐらい。全体的には度重なる富士山噴火により、時代の一部が喪失している。甲冑が必要だったのは、資料、岳麓新聞記事にある深沢城をめぐる攻防と鎌倉～江戸時代の「富士の巻き狩り！」という軍事演習時ぐらいだと思う！
歴史は大変興味があります。ぜひ郷土資料館か歴史博物館を御殿場に創るような提案をいただけたらと思います。
- ・歴史的背景を知る機会は自身で調べたり、周囲の詳しい人に聞いたりすることで得ることはできるが、実際に現代の材料で自分ならではの甲冑制作及び夏まつりでの練り歩きは今回の体験を通してしか得られない貴重な体験のため、参加者にとっては非常に得難いものとなったと思われる。
他団体・行政機関等との連携や広報については、担当課による広報支援や新聞への掲載等にて一定の効果があったものと思われるが、補助金を活用した経験を今後の団体による単独実施へ活かしていただきたい。
- ・制作風景からパレードまで見学させていただきました。
学芸員さんから御殿場の歴史を学んだ後に、親子で甲冑を制作し、完成した甲冑を着て、まちの賑わい創出のイベントに”参加する”という形で協力したことは、地域貢献にも繋がり、子どもたちは、ただ作るだけでなく「歴史を知る → 手を動かす → まちに出る」という流れの中で、御殿場の文化を“自分ごと”として感じられたように思います。
また、甲冑姿で歩くことで多くの人に声をかけられ、写真を撮られ、地域の方々との交流が自然に生まれたことも良かったと思います。
- ・参加した方々の楽しそうな様子が伝わった。貴重な体験、学習ができたのだろうと感じました。一方、行政が提供した御殿場の歴史にまつわる話はどのようなものだったか、また、御殿場と甲冑作りとの関連が分からなかったため、どのような協働内容だったのかが分かりにくかった。
- ・実施の目的が「御殿場の歴史や史跡、伝統文化の魅力を知ってもらう」ということでしたが、甲冑づくりが入口なのは良いアイデアだと思いました。学芸員の歴史等の説明、甲冑作り、作品のお披露目を兼ねた祭りへの参加と参加者の満足度も大きい良いプログラムだと思います。今後は団体単独での実施となるようですが、出来れば事務体制を

整えて、今後も継続してほしいと思います。

- ・歴史理解を起点に、体験(制作)と発表(祭り参加)までを一連の流れとして設計している点は評価できる。今後も期待していたが、次年度以降は「補助金」を活用せず、単独で実行する点は残念に感じる。
- ・日本の歴史は美しいがそれに気づきやすいのは外国の方。しかし、この団体は韓国客だけではなく移住者にも御殿場の文化を楽しく伝えているのがとても良いです。
- ・イベントとしてはとてもおもしろいと思いますので、更なる発展に期待します。

〔協議内容〕

- (委員) 最初に伝統文化を学ぶ場を設け、その後甲冑を制作し、さらに自分たちが作った甲冑を披露できる場を設けるという流れは良いアイデアだと思いました。子どもたちにとっても、自分で制作した甲冑を披露できることは、嬉しいことだろうなと思います。また、アンケートで参加した子どもやその保護者の感想などが分かると良いと思いました。総じて非常に魅力的な取り組みだと思いました。
- (委員) 甲冑という世界観を一般的にどのように広めていくかが課題だと思います。また、戦略的な視点で事業としての継続性をどう確保するかについても課題があるように感じました。
- (委員) 来年度は、市民協働型まちづくり事業補助金を活用しない予定ですが、理由は分かりますか？
- (事務局) 報告資料にも記載がありますが、補助金事業を実施するにあたっての事務体制が整っていないとのことでした。
- (委員) ありがとうございます。どのように資金を調達していくのか気になりました。